



私たちは農業高校生を**応援**します!!

レッツ・ゴー茨城

～茨城県内の農業関係高校を紹介します～

2024年3月版



農林水産省 関東農政局 茨城県拠点

はじめに

近年、気候変動による生態系への影響やSDGsを始めとする環境への意識の高まりを背景に、持続可能な社会を構築していくことが求められている中、農林水産省では、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を推進しているところです。

当拠点では、多くの皆様に、この取組を理解して頂くため、自治体、農業者、農業団体、食品等事業者の方々や、次世代を担うZ世代を対象に説明会や意見交換を実施して周知することとしています。

また、県内各農業関係高校の取組を消費者や農業者等をはじめ、教育関係者や中学生など、幅広く周知することで、一人でも多くの若者が意欲を持って農業を学び、新規就農への契機となることを願い、県内各農業関係高校の取組内容について紹介します。

令和6年3月

目 次

1.	茨城県の農業の概要	1、2
2.	茨城県内の農業関係高校等の所在図・学科名（定員）	3
3.	茨城県内の高校等の概要	4～7
4.	茨城県内の農業関係高校の紹介	8
	(1) 茨城県立水戸農業高等学校	9～16
	(2) 茨城県立大子清流高等学校	17
	(3) 茨城県立鉾田第二高等学校	18
	(4) 茨城県立江戸崎総合高等学校	19
	(5) 茨城県立真壁高等学校	20～21
	(6) 茨城県立坂東清風高等学校	22
5.	参考資料（農林水産省の役割・関東農政局の役割等）	23～34

※県内の農業高校について順次掲載していきます。

1. 茨城県の農業の概要

関東農政局HPより

茨城県

は、首都圏の一角に位置し、地形は県北地域の一部を除いて平坦であり、気候は温和で多くの動植物の南限や北限になっています。また、平坦で広大な耕地、太平洋に面する長い海岸線、霞ヶ浦(かすみがうら)など豊富な地域資源に恵まれています。このような条件の下で、農林水産物の一大生産拠点となる「食材の宝庫」として日本の食料マーケットを支えています。県では、これまでのトップブランド化の取組成果を活かし、高級果加工品のブランド化・高級店でのメロンや常陸牛等の厳選品目の取扱を推進し、県産物の知名度向上と販路拡大に取り組んでいます。さらに持続可能な農林水産業に向けて有機農業への支援や、水産資源の適切な管理など、環境との調和に配慮した取組を推進しています。

農業産出額上位5品目



地域の主要産品、特産品

特徴的な品目



県全域



県北地域



県西地域



県央地域



県南地域



鹿行(ろっこう)地域



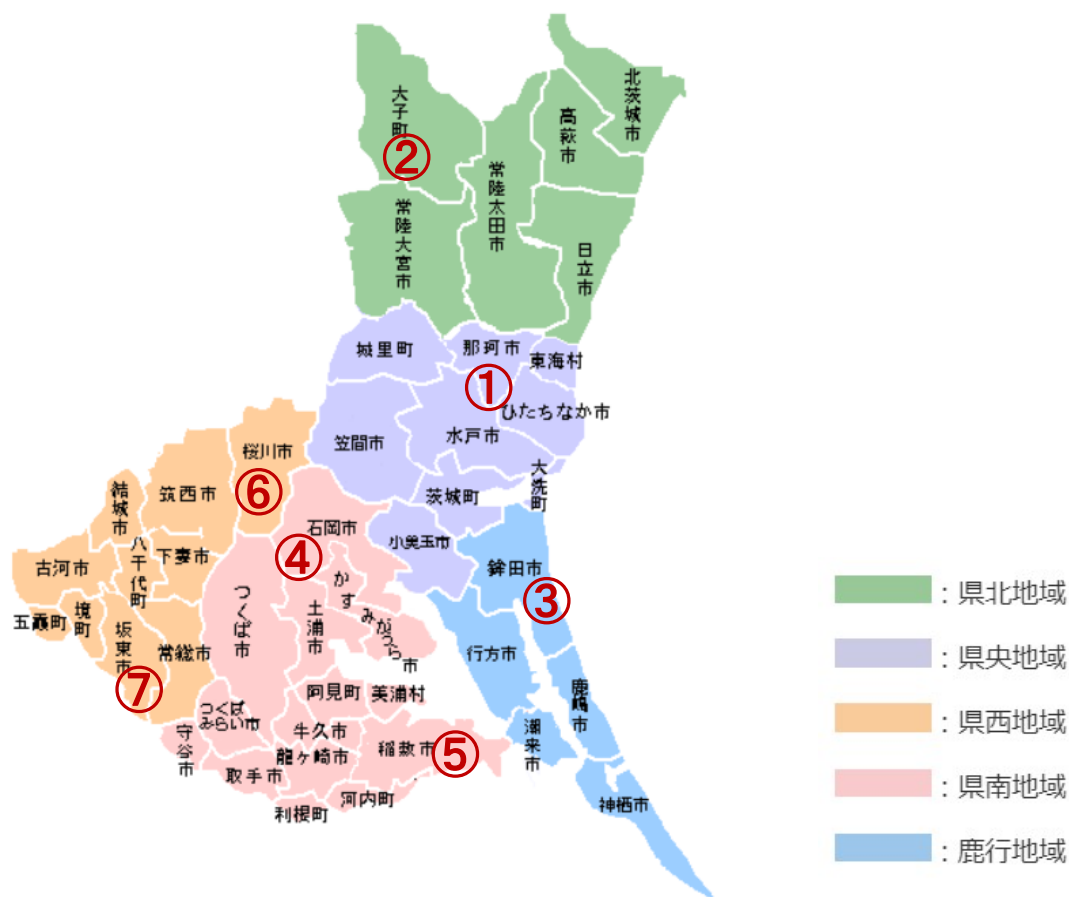
1. 茨城県の農業の概要

管内各都県の農業産出額の全国順位（令和3年）

		農業産出額	米	麦 類	野 菜	果 実	花 き	工芸農作物	生 乳	豚	鶏 卵
構成比	全国	100.0	15.5	0.8	24.3	10.3	3.7	1.9	8.9	7.2	6.2
	関東	100.0	11.9	0.4	34.0	11.8	5.1	1.2	6.5	8.3	7.7
関東の全国シェア		23.7	18.1	11.4	33.4	27.1	32.4	14.6	17.3	27.2	29.2
全国順位	1	北海道	新 潟	北海道	北海道	青 森	愛 知	北海道	北海道	鹿児島	茨 城
	2	鹿児島	北海道	栃 木	茨 城	長 野	千 葉	鹿児島	栃 木	宮 崎	鹿児島
	3	茨 城	秋 田	福 岡	千 葉	和歌山	静 岡	沖 縄	熊 本	北海道	岡 山
	4	宮 崎	山 形	佐 賀	熊 本	山 梨	福 岡	静 岡	岩 手	群 馬	広 島
	5	熊 本	宮 城	群 馬	愛 知	山 形	茨 城	熊 本	千 葉	千 葉	栃 木
	6	千 葉	茨 城	埼 玉	群 馬	愛 媛	埼 玉	群 馬	群 馬	茨 城	千 葉
	7	青 森	福 島	愛 知	長 野	熊 本	長 野	三 重	茨 城	岩 手	静 岡
	8	愛 知	千 葉	熊 本	青 森	福 島	北海道	宮 崎	愛 知	栃 木	北海道
	9	栃 木	岩 手	岡 山	埼 玉	岡 山	鹿児島	京 都	岡 山	熊 本	青 森
	10	岩 手	栃 木	茨 城	栃 木	静 岡	熊 本	岩 手	宮 城	愛 知	愛 知
	11位	長野	13位 長野	16位 長野	14位 静岡	19位 茨城	16位 栃木	16位 埼玉	12位 長野	24位 静岡	12位 群馬
	12位	群馬	18位 埼玉	27位 千葉	23位 神奈川	22位 千葉	21位 群馬	22位 茨城	13位 静岡	25位 埼玉	23位 埼玉
	15位	静岡	31位 静岡	31位 山梨	40位 山梨	24位 栃木	23位 神奈川	27位 千葉	24位 埼玉	27位 神奈川	29位 神奈川
	21位	埼玉	36位 群馬	33位 神奈川	43位 東京	27位 群馬	25位 山梨	30位 栃木	33位 神奈川	30位 長野	37位 山梨
	29位	山梨	43位 山梨			30位 神奈川	27位 東京	35位 長野	40位 山梨	40位 山梨	38位 長野
	38位	神奈川	45位 神奈川			37位 埼玉		37位 東京	45位 東京	45位 東京	46位 東京
	47位	東京	47位 東京			42位 東京		40位 神奈川			
								44位 山梨			

資料：農林水産省統計部「令和3年生産農業所得統計」による。

2. 茨城県内の農業関係高校等の所在図・学科名(定員)



地図上の記号	所在地	学校名	令和6年度 学科名(定員)
①	那珂市	水戸農業高等学校	農業科・畜産科・園芸科・生活科学科・農業土木科・食品化学科・農業経済科・定時制農業科(各40名)
②	大子町	大子清流高等学校	農林科学科(40名)・総合学科(80名)
③	鉾田市	鉾田第二高等学校	総合学科(160名)・農業科・食品技術科(各40名)
④	石岡市	石岡第一高等学校	普通科(240名)・園芸科・造園科(各40名)
⑤	稲敷市	江戸崎総合高等学校	総合学科(160名)
⑥	桜川市	真壁高等学校	普通科・農業・環境緑地科・食品化学科(各40名)
⑦	坂東市	坂東清風高等学校	総合学科(160名) 農と食科(40名)

3. 茨城県内の高校等の概要

令和5年度学校基本統計「学校基本調査結果報告書（令和6年1月）」茨城県HPより

1. 高等学校数は、119校（公立95校、私立24校）です。
2. 生徒数は、68,664人（男子35,563人(52%)、女子33,101人(48%)）です。

3. 学科別生徒数内訳

（1）普通科	53,200人（77.5%）
（2）農業に関する学科	1,485人（2.2%）
（3）工業に関する学科	4,668人（6.8%）
（4）商業に関する学科	3,979人（5.8%）
（5）水産に関する学科	230人（0.3%）
（6）家庭に関する学科	816人（1.2%）
（7）看護に関する学科	227人（0.3%）
（8）情報に関する学科	65人（0.0%）
（9）福祉に関する学科	75人（0.1%）
（10）その他の専門教育を施す学科	929人（1.4%）
（11）総合学科	2,990人（4.4%）
合計	68,664人（100.0%）

学科の学習内容

茨城県教育委員会HPより

①農業科

作物、野菜、草花、果樹、植物バイオテクノロジー、畜産、農業機械、農業経営などに関する知識と技術を学習し、社会の変化に対応できる農業経営者や農業技術者として必要な能力と態度を身に付けます。

②園芸科

野菜、果樹、草花、植物バイオテクノロジー、農業経営などに関する知識と技術を学習し、農業経営者や農業にかかわる仕事をする技術者として必要な能力と態度を身に付けます。

③畜産科

家畜の飼育、動物バイオテクノロジー、農業機械、農業経営などに関する知識と技術を学習し、農業経営者や農業にかかわる仕事をする技術者として必要な能力と態度を身に付けます。

④農業土木科

農業・建設に関する知識と技術を習得し、土地改良、環境の保全、地域開発などにかかわる仕事をする技術者として必要な能力と態度を身に付けます。

⑤造園科

造園の設計・施工・管理及び緑化植物の育成などに関する知識と技術を学習し、造園にかかわる仕事をする技術者として必要な能力と態度を身に付けます。

⑥食品化学科

食品製造、微生物基礎などに関する知識と技術を学習し、農作物を原料とした食品の製造及び食品分析、食品流通などに関する分野の仕事をする技術者として必要な能力と態度を身に付けます。

⑦生活科学科

地域の農業、農作物の加工、農業情報処理、家庭生活に関する基礎的な知識と技術を学習し、健康で豊かな家庭及び地域社会の生活改善、向上に貢献できる能力と態度を身に付けます。

学科の学習内容

茨城県教育委員会HPより

⑧農業経済科

農業経済、農業会計、農業情報処理などに関する知識や技術を学び、これらの分野の仕事をする技術者として必要な能力と態度を身に付けます。

⑨農業・環境緑地科

1学年では農業全般の基礎を共通に履修、2学年から農業機械と環境緑地の2コースに分かれます。農業コースでは農業科と同様の専門的内容の学習を行い、環境緑地コースでは、造園、石材、測量などに関する知識と技術を学習し、造園、都市緑化にかかわる仕事をする技術者として必要な能力と態度を身に付けます。

⑩食品技術科

調理、食品製造、製菓・製パンなどの食品加工などに関する知識と技術を学習し、農産物を原材料とした食品の製造及び加工、食品流通などに関する分野の仕事をする技術者として必要な能力と態度を身に付けます。

⑪園芸技術科（農業・坂東清風）

基本的な技術から先端技術までを体験しながら、野菜などの生産・加工・流通を学習し、地域農業を支える人財を育成するとともに、農業経営者や農業にかかわる仕事をする技術者として必要な能力と態度を身に付けます。

⑫農業工学科（農業・坂東清風）

2つのコースを持っており、環境デザインコースでは、住環境・都市環境をデザインする造園技術や測量について学習し、フードシステムコースでは、加工品など食品製造全般について体得する。造園にかかわる仕事をする技術者、食品の製造などに関する分野の仕事をする技術者として必要な能力と態度を身に付けます。

⑬農林科学（農業・大子清流）

1学年では農業全般の基礎を共通に履修、2学年から農業科学と森林科学の2コースに分かれます。農業科学コースでは野菜・草花・果樹等の栽培から販売や、収穫物を使う食品加工実習などを行い、森林科学コースでは、森林環境の保全や森林資源の育成と有効利用に関わる技術と知識を学びます。農業や森林・林業にかかわる仕事をする技術者として必要な能力と態度を身に付けます。

農業関係高校等の詳細

- ① 茨城県立水戸農業高等学校 〒311-0114 那珂市東木倉983

HP : <https://www.mito-ah.ibk.ed.jp/>



- ② 茨城県立大子清流高等学校 〒319-3526 久慈郡大子町大子224

HP : <https://www.daigoseiryu-h.ibk.ed.jp/>



- ③ 茨城県立鉾田第二高等学校 〒311-1517 鉾田市鉾田1158

HP : <https://www.hokota2-h.ibk.ed.jp/>



- ④ 茨城県立石岡第一高等学校 〒315-0001 石岡市石岡1-9

HP : <https://www.ishioka1-h.ibk.ed.jp/>



- ⑤ 茨城県立江戸崎総合高等学校 〒300-0504 稲敷市江戸崎甲476-2

HP : <https://www.edosakisougou-h.ibk.ed.jp/>



- ⑥ 茨城県立真壁高等学校 〒300-4417 桜川市真壁町飯塚210

HP : <https://www.makabe-h.ibk.ed.jp/>



- ⑦ 茨城県立坂東清風高等学校 〒306-0631 坂東市岩井4319-1

HP : <https://www.bandoseifu-h.ibk.ed.jp/>



4. 茨城県内の農業関係高校の紹介

- ① 茨城県立水戸農業高等学校（農業科・畜産科・園芸科・生活科学科・
農業土木科・食品化学科・農業経済科・
定時制農業科）・・・・・・・・・・ 9～16
- ② 茨城県立大子清流高等学校（農林科学科）・・・・・・・・・・ 17
- ③ 茨城県立鉾田第二高等学校（農業科・食品技術科）・・・・・・・・・・ 18
- ④ 茨城県立石岡第一高等学校
※今後掲載を予定しております。
- ⑤ 茨城県立江戸崎総合高等学校（総合学科）・・・・・・・・・・ 19
- ⑥ 茨城県立真壁高等学校（農業・環境緑地科、食品化学科）・・・・・・・・ 20、21
- ⑦ 茨城県立坂東清風高等学校（農と食科）・・・・・・・・・・ 22

茨城県立水戸農業高等学校 農業科

○ 農業を総合的に学ぶ学科

- 1年 栽培基礎を学び、育てる自主性や科学的にとらえる思考力を身につけます。
- 2年 課題研究や専攻実習を通した専門性を高める学習を進めます。
- 3年 知識や技術をもとに、実践力やプレゼンテーション能力を高めます。

○ 主な学習内容

- ・作物栽培の基礎から大規模農業まで総合的に学ぶ学科です。
- ・野菜、果樹、草花の部門に分かれて専門的な栽培技術を習得します。
- ・プロジェクト（課題解決型）学習を重視しています。
- ・ガス溶接やフォークリフトなど、様々な資格を取得することができます。
- ・農業後継者、大学進学者、関連産業事業者の育成を目指します。



ブドウの摘果



そば畑での実習



水田管理操作



プロジェクト学習調査

○ 特徴的な活動内容

- ・笠間稲荷神社の御田植祭参加
- ・那珂市農家さん指導のもと、那珂カボチャ栽培実習
- ・コンバインでの稲刈り実習や農産物販売実習の実施
- ・水戸市と連携した次世代エキスパート育成事業で市内児童との交流授業



御田植祭



カボチャ栽培



稲刈り

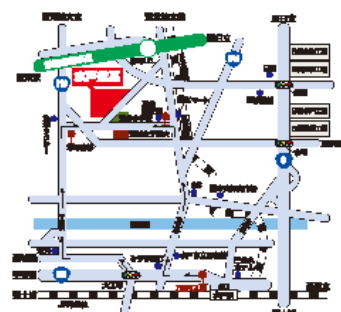


農産物販売実習

○ 取組の効果・今後の方向性

- (1) 四年制大学や県立農業大学への進学実績が多数あり、農業関連分野で活躍する人材を輩出しています。
- (2) 地域との連携を図り、農産物販売や栽培講習会、児童への農業体験活動などを行うことで、学習の成果を地域に還元しています。

学校地図



茨城県立水戸農業高等学校 畜産科

○ 動物とふれあい、生命を育む学科

- 1年 採卵鶏の飼育管理、作物の栽培管理
- 2年 専門知識の習得（畜産、愛玩動物、実験動物、農業機械）
- 3年 課題を見つけ探求する（課題研究・総合実習）、食品製造

○ 主な学習内容

- ・動物の生理・生態から飼料作物生産に至る、幅広い畜産学の習得
- ・産業動物、愛玩動物、実験動物を用いた実践的な実習から専門知識や技術の習得
- ・畜産物（牛乳・食肉）を用いた食品製造の技術習得



ニワトリの生育調査（農業と環境）



選択授業「ペット」（2年生）



牛体測定（総合実習）



豚枝肉の解体実習

○ 特徴的な活動内容

- ・生命と向き合い専門知識の習得（ニワトリのと殺・解体実習）
- ・繁殖から肥育までの一貫飼育（鶏・豚・牛）
- ・和牛甲子園への取り組み（和牛の飼育・流通・販売）
- ・愛玩動物の学習と資格取得



ニワトリのと殺・解体実習



ヨーグルトの製造



牛の人工授精実習

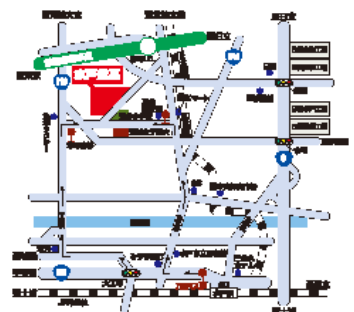


第7回和牛甲子園への参加

○ 取組の効果・今後の方向性

- 1) 職業観を醸成するために、段階的かつ実践的な実習を行い将来畜産を担う意識を高める。
- 2) 実習をとおして、命を扱う責任感や生命の尊さを学び、将来へ活かす。
- 3) 対外的な活動（乳牛共進会、和牛甲子園、保育園との交流等）を通じて、地域と連携を図る。

学校地図



茨城県立水戸農業高等学校 園芸科

○持続可能な社会と豊かな生活を創造する学科

- ・施設栽培を中心に、高度で高付加価値な栽培技術を学びます。
- ・ICTを活用したスマート農業について学びます。
- ・生産物の利活用について学びます。
- ・様々な体験活動をととして、豊かな生活について考えます。

○ 主な学習内容

- ・シクラメンを中心とした鉢花の栽培
- ・パンジーやサルビアなど花壇用草花の栽培と、それらを活用した花壇づくり
- ・トマトの水耕栽培や、自動かん水装置を用いたナシ「恵水」の栽培
- ・植物バイオテクノロジーによる実験や研究
- ・アレンジメントや加工など、生産物の利活用



シクラメン栽培



切り花栽培



花壇づくり



野菜の栽培



ナシの栽培

○ 特徴的な活動内容

- ・フラワーアレンジメント講習とフラワー装飾技能士3級取得を目指した学習
- ・トマトの水耕栽培と自動かん水装置による「恵水」の栽培
- ・地元商工会議所との協働プロジェクト「ローゼル」の商品開発
- ・「高品質生菓の国内栽培拡大」に向けた大学との共同研究
- ・アントレプレナーシップ教育による社会的起業家精神の醸成



トマトの水耕栽培



イチゴの栽培



フラワーアレンジメント



学校行事での会場装飾



販売実習



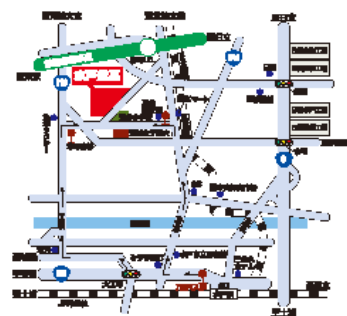
プロジェクト発表会

○ 取組の効果・今後の方向性

- ・全国フラワーアレンジメントコンテスト出場
- ・各種ビジネスコンテスト入賞

SDGsを原動力とした地域創生、環境と経済の好循環の創出を目指した学習活動を展開していきます。

学校地図



茨城県立水戸農業高等学校 生活科学科

○ 食料生産から生活（衣・食）までを学ぶ。

※本学科は農業科と家庭科の両方を勉強します。

1年：農業と環境・総合実習で畑作と水稻を、家庭総合で各検定取得を目指す。

2年：生活科学基礎・総合実習で畑作を、服飾手芸やフードデザインで調理検定・被服検定2級以上を、希望者は保育検定の取得も目指します。

○ 主な学習内容

- ・栽培実習：水戸周辺で栽培する野菜やコメ、大豆、小麦の栽培を行います。
- ・生産実習：栽培したものを利用した味噌や豆腐などの生産実習を行います。
- ・家庭科実習：調理検定、被服検定、保育検定（希望者）の取得を目指します。



栽培実習（追肥の準備）



栽培実習（カボチャの播種）



栽培実習（土づくり）



調理検定1級生徒作品

○ 特徴的な活動内容

- ・大豆100粒運動とジュニア豆腐マイスター取得。
- ・フラワーアレンジメント講習会。
- ・こども園とのサツマイモ苗植・サツマイモ掘り交流会。
- ・生産したもち米をつかったの科内餅つき会。



自分たちが育てたダイズで豆腐づくり



ジュニア豆腐マイスター取得



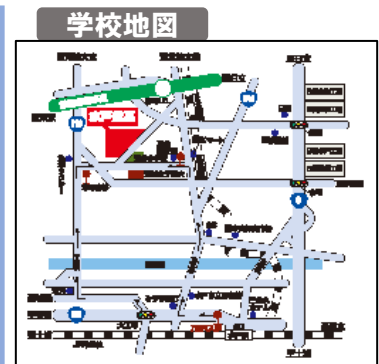
フラワーアレンジメント講習会



科内餅つき

○ 取組の効果・今後の方向性

- (1) 栽培から調整・加工、販売までを通して学ぶことができます。
- (2) 調理師、パティシエ、美容師といった将来の職業選択につながる実学の勉強ができます。
- (3) 子どもとの交流会は生徒も園児もどちらにもよい思い出になります。



茨城県立水戸農業高等学校 農業土木科

○測量から設計、施工まで快適な環境を創造するエンジニアを養成する学科

1年 「測量」と「農業土木」の基礎を学ぶ

2年 専門知識の習得（土木設計、土木施工、水循環、測量）

3年 専門性の追求（課題研究・国家資格に挑戦）

○ 主な学習内容

- ・測量（測量全般の知識と技術を習得し、実際に活用できるようにする）
- ・農業土木設計（快適で安全な構造物を建設するために力学を学び設計する）
- ・農業土木施工（土木工事を円滑に行うために必要な知識の習得）
- ・課外研究（課題を見つけ修繕・施工を行うことで課題解決能力の育成）



現場見学（1年生）



測量（2年生）



土木施工（3年生）



ドローン操縦体験（3年生）

○ 特徴的な活動内容

- ・国家資格に特化した授業展開・外部連携（測量士補・土木施工管理2級補）
- ・専門分野の理解を深める課外授業（校外学習・インターンシップ・ドローン講習会・ダム見学・測量実習 等）
- ・進路実現を支える多くの資格取得



資格講習（2年生）
アーク溶接



資格講習（3年生）
フォークリフト



GNSS測量（3年生）

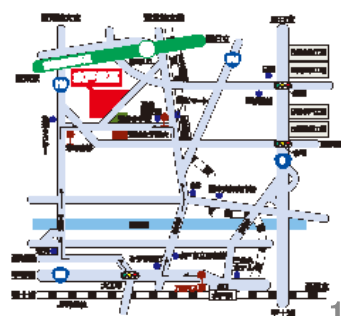


課題研究 アスファルト舗装（3年生）

学校地図

○ 取組の効果・今後の方向性

- ・実験・実習を通して専門教科の理解を深める
- ・外部との連携を密に行い専門性の向上と社会に出た際に即戦力となる人財の育成
- ・国家資格取得者を増やす



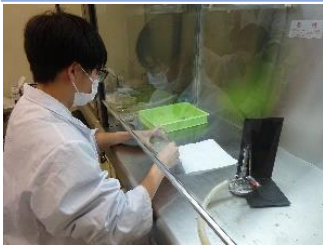
茨城県立水戸農業高等学校 食品化学科

○ 生命のみなもと「食」を科学する学科

- 1年 トウモロコシ、ダイコン、ソバ、ダイズ、ブルーベリーの栽培及び加工
- 2年 食品分析実験、みそ製造実習、製菓・製パン実習等
- 3年 食肉加工（ソーセージ類の加工実習）、デコレーション実習等

○ 主な学習内容

- ・食品化学、食品製造、食品微生物など食を科学するための学習
- ・実験を通して、栄養管理や食品開発などについて理解を深める学習
- ・ジャムや味噌の製造、そば打ち、製菓、製パン実習など実践的な学習



微生物培養



濾過実験



味噌製造



ジャム製造

○ 特徴的な活動内容

- ・外部講師特別授業（洋菓子製造講習）
- ・地域との交流（那珂市事業協力、水戸市小学生キッズスクールなど）
- ・そば打ち講習（競技会入賞の職人による年間10回の実技指導）
- ・酒造体験（水戸市明利酒類における酒造に関わる複数回の実習）



洋菓子講習



交流会



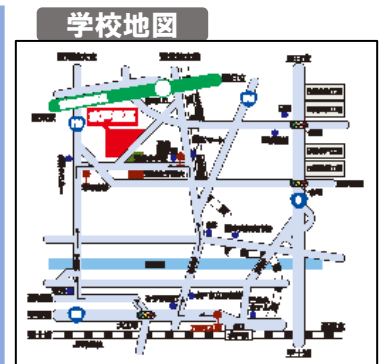
そば打ち講習



清酒官能検査

○ 取組の効果・今後の方向性

- (1) 職業観を醸成するために、段階的かつ実践的な実験・実習を図った教育課程での実施。
- (2) 専門科目の関連性を意識させるため、専門科目を横断的に授業展開を行い、食に対する知識や技術を深める授業。
- (3) 対外的な活動を通じて、地域社会へ貢献。



茨城県立水戸農業高等学校 農業経済科

○ 広い視野で農業を考える学科

- 1年 農業と環境、農業と情報
- 2年 農業と情報、総合実習、地域資源活用、簿記
- 3年 総合実習、課題研究、食品流通、情報処理

○ 主な学習内容

- ・ 農業の基礎知識や栽培技術を学びます。
- ・ 農業経済や流通の仕組みを学びます。
- ・ 最新のコンピュータの知識・技術を学びます。
- ・ 複式簿記の原理を学びます。



授業の様子：田植え



授業の様子：情報処理



授業の様子：情報処理



授業の様子：簿記

○ 特徴的な活動内容

- ・ 現場実習（やぎぬま農園（パパイヤ）・JA）
- ・ ビジネスに役立つ資格取得
（情報処理検定・ビジネス文書検定・簿記検定・HP作成検定など）
- ・ ワープロ競技会への参加



現場実習：パパイヤ農園



現場実習：JA

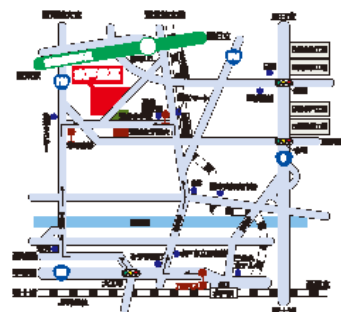


ワープロ競技会：団体入賞



資格取得

学校地図



○ 取組の効果・今後の方向性

- ・ 資格取得を通して、進路への意識を高めることができ、進路決定へ繋がった。
- ・ 一人一人に合わせた学習の展開。
- ・ ワープロ競技会など校外での活躍の場を増やす。

茨城県立水戸農業高等学校 定時制農業科

○ 自分の道をゆっくり探せる学科

- 1年 水稻を中心に農業の基礎を学び、自主性や思考力を身につけます。
- 2年 野菜、果樹の栽培管理と販売実習の実践力を身につけます。
- 3年 作物か野菜を選択し、より専門性を高める学習を進めます。
- 4年 知識や技術をもとに、課題を設定し問題解決能力を養います。

○ 主な学習内容

- ・ 授業日は、1・2年生が月～木曜日、3・4年生は月～水曜日とゆとりある4年間の高校生活を送ることができます。
- ・ 作物や野菜、農業機械、情報処理など幅広く農業を学びます。
- ・ 漢検、英検、溶接、ビジネス文書実務検定など多くの資格を取得できます。
- ・ 部活動では、多くの生徒が全国大会へ出場しています。



田植え



稲の調査



稲のおだかけ



児童の体験授業



大会入賞

○ 特徴的な活動内容

- ・ プロのシェフ（外部講師）によるイタリア料理講習会
- ・ ブドウ園研修
- ・ 近隣小学校を招いたサツマイモの栽培体験や、ブルーベリー、クリ、ナシなどの収穫体験



イタリア料理講習会



ブドウ園研修



小学生とサツマイモの定植

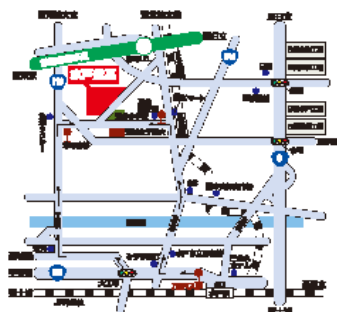


ウシとのふれあい体験活動

○ 取組の効果・今後の方向性

- (1) 農業実習や様々な体験活動を通して職業観や勤労観の育成を図っています
- (2) 地域との連携を図り、農産物販売や栽培講習会、児童への農業体験活動などを行うことで、学習の成果を地域に還元しています。

学校地図



茨城県立大子清流高等学校 農林科学科

- 自然を教材とし、実践的な授業を通して、農産物や林産物の生産、加工、販売など一貫して学ぶことができます。低農薬や森林の環境保全などSDGsを意識した取り組みを行っています。

○ 主な学習内容

- ・ 課題研究・科学研究
- ・ 農業実習（野菜・草花・果樹・畜産・農業機械など）
- ・ 林業実習（オオクワガタ・ドローン・林産物加工など）
- ・ 農業クラブ など



木材加工実習



オオクワガタ養殖



コンニャク栽培



シクラメン栽培

○ 特徴的な活動内容

- ・ 黄門祭りでのオオクワガタ販売
- ・ 建設機械、ドローンの講習会
- ・ 近隣小学校、福祉施設との交流
- ・ スイーツコンテストへの参加など



黄門祭り



高性能林業機械体験実習



小学生との交流



スイーツコンテスト

○ 取組の効果・今後の方向性

- ・ 企業や関係機関とタイアップすることで、専門性や農林業の環境保全における役割について理解を深める。
- ・ 低農薬栽培や資源の再利用など本校の環境負荷を減らす取り組みについて、広報する。

学校地図



茨城県立鉾田第二高等学校 農業科・食品技術科

- 農 業 科：作物・野菜・草花・果樹などの栽培を中心に、農業に関する科目をとおして実践的に学ぶ学科です。
- 食品技術科：農作物の栽培から食品の加工まで実践的に学習し、食と農業に関する基礎的な知識と技能・技術の習得を目指す学科です。

○ 主な学習内容

農 業 科：栽培技術を中心に農業を総合的に学ぶ。

食品技術科：食のマイスターを目指す。



メロンの栽培



田植え実習



課題研究



製菓・製パンコース

○ 特徴的な活動内容

農 業 科：メロン接ぎ木講習会・農産物移動販売・先進農家研修・ドローン研修会・花いっぱい運動・幼小高連携事業（自然体験学習）等

食品技術科：地域の農産物を利用して農産物加工・調理を行う「食品加工コース」と、焼き菓子やパン製造の理論と実技を学習する「製菓・製パンコース」に分かれて活動する。



メロン接ぎ木講習会



農産物移動販売



先進農家研修



そば打ち体験

○ 取組の効果・今後の方向性

農業科では、将来の地域農業後継者や農業関連産業従事者を育成するため農産物生産に関する知識や技術の習得を目指している。

食品技術科では、地域の農産物を利用した調理と食品製造に関する知識と技術、または菓子やパンの製造に関する知識と技術を習得させこれらの業務に従事する技術者として必要な能力と態度を育てる。

学校地図



茨城県立江戸崎総合高等学校 総合学科

○グリーンテクノ系列は、江戸崎農学校以来の農業教育を継承しており、教室で学んだ理論を農場や実習室で生徒自身が実際に体験しながら学習を進めていく特徴があります。

- 本系列を選択すると、栽培コースと食品コースを選択できます。
- ・栽培コースでは野菜や草花の栽培を中心に学習を深めていきます。
 - ・食品コースでは、食品製造や食品化学を中心に学習を深めていきます。
 - ・両コースとも農業と環境を学習します。



メロン栽培学習（生育調査）



花壇苗の追肥実習



みそ製造実習



食品化学実験

○ 特徴的な活動内容

- ・地域活性化にむけた探究学習・上級学校や地域の農業普及センターとの連携による授業・農産物の物流を学習する東京卸売市場への校外学習・新たなスイーツの提案に向けた商品開発・地域環境美化に係る市役所や警察署での花いっぱい運動・学校文化祭と連携した農産物販売学習など



東京農業大学見学会



東京卸売市場見学会



製菓実習の様子



警察署花壇整備

○ 取組の効果・今後の方向性

本校のグリーンテクノ系列は「農業という総合科学から進路を見つける系列」のもと、1人1人の生徒が豊かな体験学習等を、とおして人間として大きく成長できるように目指していきたいと考えています。

学校の位置



茨城県立真壁高等学校 農業・環境緑地科

○農産物の栽培・管理・収穫・調整・販売及び環境緑地の設計・施工
管理・環境保全に関する知識と技術を習得させ、農業関連産業に従事する者として必要な知識と能力を育てる。

○ 主な学習内容

- ・新しい農業技術を使用した「スマート農業」
- ・農業生産工程管理（GAP）
- ・桜川市の桜初期診断調査・保全活動
- ・ものづくりマイスター など



シャインマスカットの剪定



イチゴのパック詰め



桜初期診断調査



ものづくりマイスター（石材）

○ 特徴的な活動内容

- ・真壁のひな祭り、茨城空港及び大丸東京店での農産物販売会の開催
- ・特別支援学校や地元幼稚園との農業体験交流
- ・農産物の輸出
- ・茨城県建設業協会との連携（インターンシップ）など



販売会



地元幼稚園児と農業体験



建設業インターンシップ



台湾での販売会

○ 取組の効果・今後の方向性

GLOBAL G. A. P. 認証取得（県内の農業高校では本校のみが取得）

農業力を柱とした地域との連携・協働、さらには地域貢献できる幅広い取り組みを展開。

高い技術力による、安心・安全で良質な農産物を生産・提供できる地域に開かれた農場。

学校地図



茨城県立真壁高等学校 食品化学科

- 食品を扱う心構えを養い、製造技術を身に付ける。
- 化学実験や培養実験などを通して、科学的な視点を養う。
- 2年生からコース(製菓、理数科学)を選択し、専門知識を養う。

○ 主な学習内容

- ・イチゴジャムや味噌等の製造実習
- ・HACCP(食品製造における安全管理の重要性と、衛生管理の方法について)
- ・製菓コース：製菓技術・総合実習(和洋菓子製造実習)
- ・理数科学コース：食品微生物(酵母・カビの培養実験、天然酵母の利用法)



製造実習(イチゴジャム)



製造実習(味噌)



製菓コース：製菓実習



理数科学コース：培養実験

○ 特徴的な活動内容

- ・地域活性化
- ・専門学校、地元和菓子店、ものづくりマイスターとの連携
- ・果物から酵母を取り出し、食品への利用を研究



水戸駅販売会



真高マルシェ販売会



専門学校の講師による指導



本校産の梅から天然酵母を起こす実験

○ 取組の効果・今後の方向性

- ・販売会を通して、コミュニケーション能力の向上、マーケティングを学ぶ。
- ・地域活性に向けて、「イチゴジャム」、「真香みそ」でふるさと応援寄付金の返礼品に挑戦。
- ・和洋菓子の新商品開発。

学校地図



茨城県立坂東清風高等学校 農と食科

- 本校舎と農場の距離が12kmと、県内で最も遠くにある農場へは、クラスごとにバスに乗って移動します。1年生では全員が共通の科目を学習し、2年生からは「農業コース」「都市園芸コース」「食品コース」を専攻して、専門的な知識と技術を学びます。

○ 主な学習内容(専攻コースごと)

- ・ 農業コース: 「野菜」「作物」「果樹」を中心とした、「農業の知識・技術」に関する学習など。
- ・ 都市園芸コース: 「草花」「造園」「植物バイオ」を中心とした、「草花・造園の知識・技術」に関する学習など。
- ・ 食品コース: 「食品製造」「食品化学」「食品微生物」を中心とした、「食品の知識・技術」に関する学習など。



イチゴ栽培(農業)



シャインマスカットの栽培(農業)



顕微鏡による植物表面の観察(都市園芸)



パン製造(食品)

○ 特徴的な活動内容

- ・ 県教委指導による「儲かる農業」を掲げたメロンの栽培
- ・ 地域産業である「茶の木(猿島茶)の栽培」
- ・ 県立農業大学の技術指導による「果樹剪定などの技術講習」
- ・ 「根域制限栽培」を利用したシャインマスカットの栽培
- ・ 地元行政との連携による「ふるさと納税返礼品」として本校シクラメンの利用
- ・ 地域樹木医との連携による公共施設内の「樹木調査」
- ・ 農業コース生産のイチゴを食品コースでジャムに加工する「校内6次産業」など



メロン栽培(バーチャル会社経営)



シクラメン栽培(ふるさと返礼品)



樹木医による樹木調査(高木の樹高の測り方)



6次産業(イチゴジャムづくり)

○ 取組の効果・今後の方向性

令和4年度入学生から「農と食科」1学科の募集となってしまう、令和6年度にようやく完成年度を迎えることができる。「農業」「園芸・造園」「食品」の3つのコースを柱として展開しているが、このコースは他校の「学科」にも負けることのない学習内容を展開している。次年度の完成年度に向けて、各コースの生徒たちが専門性を楽しみながら学習することができるように、実験・実習を中心にした学習内容の展開を目指したい。

学校地図



5. 参考資料

※出典

【農林水産省の役割】及び【関東農政局の役割】については、農林水産省ホームページ（農林水産省の政策）・関東農政局入省ガイド2023を加工して作成

・ 農林水産省ホームページ（農林水産省の政策）
<https://www.maff.go.jp/j/joinus/recruit/policy/index.html>



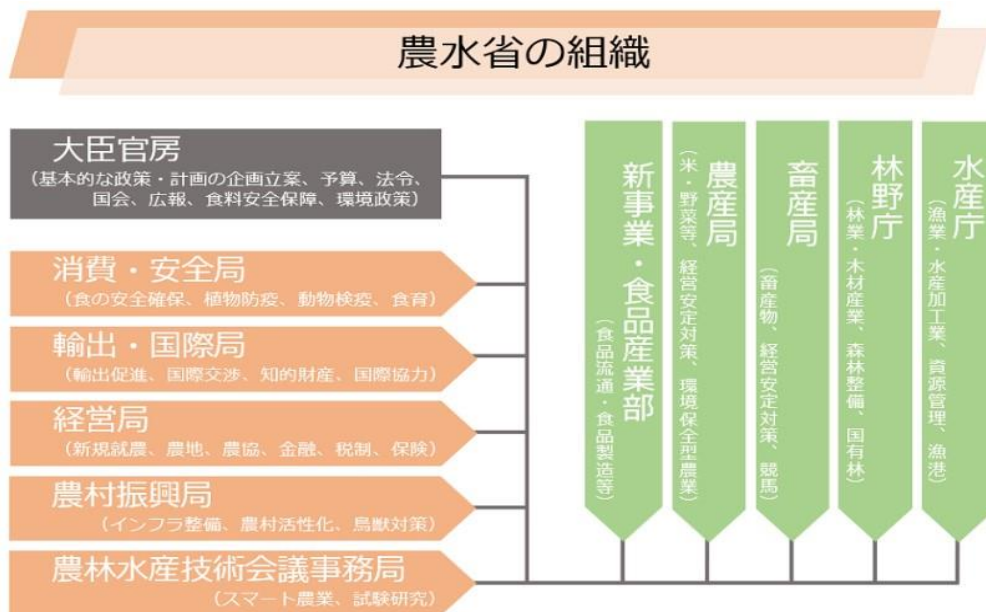
・ 関東農政局入省ガイド2023

https://www.maff.go.jp/kanto/annai/saiyou/attach/pdf/saiyoujyouhou_daisotsu2023-2.pdf



農林水産省の役割

農林水産省は、食料の安定供給と、活力ある地域社会の維持、国土・自然環境の保全などを通じて我が国の経済社会と国民生活の安定を図るうえで極めて重要な役割を果たしています。



大臣官房

農林水産省では、食の安全確保と安定供給、農業経営の安定、農業構造の強化、農山漁村地域の活性化などに、幅広く取り組んでいます。大臣官房では、その基本的な政策ビジョンの策定、法令審査、予算編成、国会との連絡調整、広報活動、地方との連携、災害対策、食料安全保障、環境政策、統計等を担っています。

食料安全保障

世界の人口増加に伴う食料需要の拡大が見込まれる中、気候変動や世界情勢の変化等により、食料の安定供給に対する懸念が高まっており、食料安全保障強化が重要となっています。このため、食料需給動向の調査・分析や、食料需給トレンドの将来予測モデルの開発、不測時に備えたシミュレーション演習等に取り組んでいます。

環境政策

国内外でSDGsや環境を重視する動きが加速する中、我が国の食料・農林水産業は気候変動への対応、生産者の減少などの政策課題を抱えています。このため「、みどりの食料システム戦略」を策定し、省一丸となり食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立の実現に取り組んでいます。

デジタル戦略

農林漁業・食品産業の現場や農林水産省の業務運営のデジタルトランスフォーメーション(DX)を戦略的かつ迅速に進めるのがデジタル戦略グループのミッションです。2021年3月公表の「農業DX構想」に即し、行政手続きのオンライン化や、農地情報を統合する農林水産省地理情報共通管理システムの開発などを進めています。

新事業・食品産業部

食品産業は、食品の加工・製造・流通を担い、消費者のニーズに応じて食品を供給する役割を果たすとともに、国産農林水産物の主要な需要先であり、地域経済を支える産業となっています。時代の変化に対応し、消費者の豊かな食生活を支えるため、食品産業の育成・振興、ESG対応、フードテックなどを進めています。

消費・安全局

何よりも大切なのは、国民の健康を守ること。消費・安全局は、この考えのもと、生産現場から食卓までのあらゆる場面で科学的な根拠に基づいた措置を講じています。具体的には、家畜や農作物などの病気を防ぐとともに、諸外国との検疫協議や食品表示の適正化、食育などにも力を入れています。

輸出・国際局

農林水産物・食品の輸出額を2030年までに5兆円とする目標の達成に向け、海外での販売力強化、輸出産地の育成・展開、放射性物質や動植物検疫規制の緩和・撤廃交渉などの取組を行うとともに、知的財産の保護・活用に取り組んでいます。また、TPP、WTO等の貿易交渉や、国際会議等にも力を入れています。

農産局

農産物の生産・販売を持続的に拡大し、農業者の所得向上を図るため、農産物の生産振興施策と環境保全を推進しています。具体的には、農産物の高品質化や農業者の所得向上を図ることで、米・麦や、さとうきび・てん菜、茶、野菜・果樹などの生産振興に取り組むとともに、環境保全で消費者の信頼確保に努めています。

畜産局

畜産物を安全かつ安定的に供給するとともに、畜産農家や関連事業者の経営安定等を図るため、生産から流通・消費に至る一連の畜産振興施策を推進しています。高まる需要に応えるため、牛肉等の国内生産量を増やすほか、畜産農家の労働環境の改善、環境対策等に取り組んでいます。

経営局

農業経営の改善と発展に向けた各種施策を進めています。具体的には、担い手への農地集積・集約化を進めるとともに、融資、税制などの重点的な支援、新規就農対策などに取り組んでいます。また、天候などに左右されやすい農業経営を安定化させるためのセーフティネットの確保、農協の指導や監督も行っています。

農村振興局

土地や水は、我が国の農業生産を支える重要なインフラです。農業の競争力を高め、農村地域を災害から守るため、それらの保全や管理・整備を進めています。また、農山漁村の美しい景観、伝統的な食、古民家やジビエなど、これら宝を磨き上げ、農山漁村の振興に繋げるための地域の特色ある取組も推進しています。

農林水産技術会議事務局

日本の農業を魅力ある成長産業とするカギは「スマート農業」にあります。先端技術を現場に実装することで、生産者の負担軽減と所得向上を目指します。また、環境問題が深刻化している中で、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現していくため、環境負荷軽減に取り組んでいきます。

林野庁

先人の努力により造成された日本の森林資源は、今まさに本格的な利用期を迎えています。「グリーン成長」を実現し、豊かな森林を次代に継承していくことが林野庁の使命です。そのため、木材利用のニーズを拡大するとともに、林業の効率化や、低コストかつ安定的な木材供給体制を推進しています。

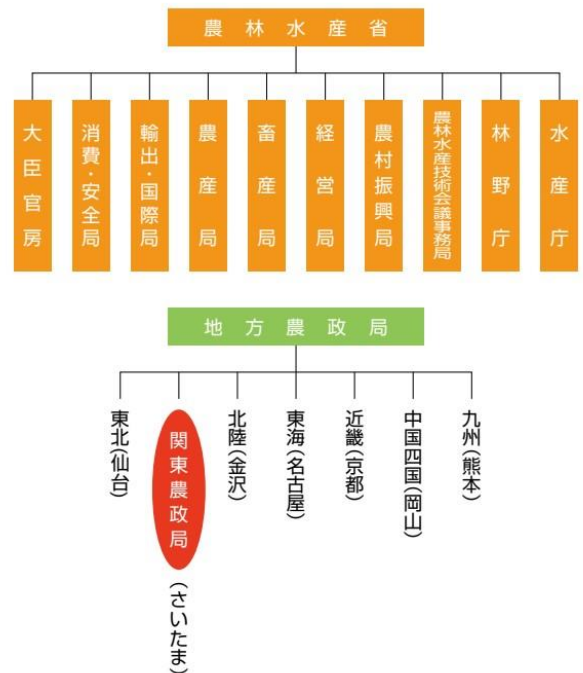
水産庁

我が国では水産物の漁獲量の減少が続いている一方、世界ではその需要が拡大しており、我が国の水産業は大きな成長のチャンスを迎えています。水産庁では、70年ぶりの漁業法改正をはじめ、資源管理体制の構築、スマート水産業の実現、輸出促進、そして国際交渉などにリーダーシップをとって対応しています。

関東農政局の役割

関東農政局は、農林水産省の地方行政組織（全国で7か所）の1組織として、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野及び静岡の1都9県を管轄し、地域の特性を生かしたきめの細かい農業行政を総合的に推進しています。

■ 関東農政局の位置



企画調整室

～農政の推進及び調整～

- 関東農政局が行う諸施策の推進の企画及び総合調整
- 現場と農政を結ぶ業務
- 食料・農業・農村基本法の検証及び見直しへの対応
- 広報活動の推進
- 災害による農業被害への対応

消費・安全部

～『食』の安全及び消費者の信頼の確保に向けた取り組み～

- 食の安全及び消費者の信頼の確保に向けた情報提供、消費者との意見交換や消費者相談、食育の推進
- 食品表示及び米穀の適正流通の監視業務
- 農薬・肥料・飼料などの生産資材の適正使用・管理
- 牛のトレーサビリティ制度及び水産流通適正化制度の監視業務、農水産物の残留有害物質の調査、ペットフードの安全確保業務

何よりも大切なのは、国民の健康を守ること。

消費・安全部は、この考えのもと、「食」の安全と安定供給を確保し、消費者が「食」に対する信頼感を持てるような政策の企画・実行を担当しています。

食品の安全性を向上させるために、生産現場から食卓までのあらゆる場面で科学的な根拠に基づいた措置を講じています。

また、家畜や農作物などの病気、害虫の発生やまん延を防ぐとともに、消費者の視点に立った食品表示の適正化や、食と農林漁業への理解を深める食育にも力を入れています。

生産部

～食料自給率・自給力の向上に向けた生産振興の取組と持続可能な農業生産の推進～

- 農畜産物の生産振興(地球温暖化への対応を含む)
- スマート農業の推進
- 持続可能な農業生産の推進
- 経営所得安定対策等の推進 等

経営・事業支援部

～農業経営の改善・安定と農林水産業・食品産業の持続的発展～

- 農林水産物・食品の輸出の促進
- 地理的表示保護制度の推進
- 農業経営体の育成、新規就農の促進及び女性農業者の活躍推進
- 農地中間管理機構を活用した農地の受け手への農地の集約化等の促進
- バイオマス等再生可能エネルギーの利活用及び食品リサイクル等の推進
- 食品産業の振興と卸売市場の整備

農村振興部 国営事業所・調査管理事務所部門

～『農業農村整備事業』の実施～

- 『農業農村整備事業』は、自然との共生を図りながら営まれている農業や農村の持続的発展を支援するため、農業用水を確保する施設(ダム・取水堰等)や用排水路の建設、営農条件を改善する田畑の整備、農村環境の整備等を行います。一般的に規模の大きい事業を国が実施しています(国営事業)
- 農村振興部では、国営事業の施設設計に関する技術的な指導や工事の審査、地方公共団体等が行う事業(補助事業)の計画の審査等を担当しています。
- 調査管理事務所では、国営事業の計画づくりを行うとともに、必要な各種調査等を担当しています
- 国営事業所では、計画に基づき国営事業を着実に進めるため、地元農家をはじめ県・市町村の担当者と連携を図りながら、施設の設計や工事の監督等、ものづくりのため様々な業務を行います。

用地及び管理部門・災害復旧部門

～国営事業の実施に必要な用地の確保と土地改良施設の管理～

【国営事業の用地業務】

- 『農業農村整備事業』等の公共事業に、必要な用地を取得することを、一般的に「用地業務」といい、用地の取得は適正・公平な補償をもって行うこととしています。
- 用地部門では国営事業に係る土地等の取得及び地上物件の移転等、並びにこれらに伴う損失補償に関する事務を担当します。

【土地改良施設の管理業務】

- 『農業農村整備事業』で造成された施設(土地改良施設)は、土地改良法に基づいて適正に管理する必要があります。
- 主な業務として、土地改良法に基づく許認可の手続きのほか、土地改良施設を管理する土地改良区の支援や指導を行います。



統計部

～農林水産業の戦略を定める統計の整備～

農林水産統計の役割

日本の農林水産業の実態を把握し実証的な証拠に基づく政策立案(EBPM)や、“ものさし”として国民に活用されることで、農林水産業の将来展望を切り開いていく役割を担っています



総務部

～農政局全体の事務管理・運営～

各都県拠点

農林水産省では、農政を伝え、現場の声を汲み上げ、ともに解決する地方参事官室を全国の都道府県域拠点に配置し、「現場と農政を結ぶ業務」「地域情報・広報業務」「防災業務」「現地説明対応業務」などを実施。

管内国営事業（務）所

食料需給に対応できる供給力を確保するため、食料生産の中核を形成する優良農業地域を対象に、受益者の申請に基づいて国営事業を実施。

組織・関東農政局



茨城県拠点の紹介

関東農政局茨城県拠点では、茨城県及び茨城県高等学校教育研究会農業部会等のご協力をいただき、茨城県内に所在する農林水産関係学校と連携した担い手育成対策の取組を推進しております。

今般、農業関係高校の魅力やZ世代の強みを活かした多様な取り組みについて取りまとめ、MAFFアプリ、関東農政局茨城県拠点ホームページに掲載していますのでご案内します。

★関東農政局茨城県拠点ホームページ（トップページ）

<https://www.maff.go.jp/kanto/chiikinet/ibaraki/index.html>



・茨城県内の農業関係高校の紹介

<https://www.maff.go.jp/kanto/chiikinet/ibaraki/nougyoukoukousyukai.html>



農林漁業者と農林水産省をつなぐ
新たなコミュニケーションツール

MAFFアプリ

農林水産業に役立つ情報が直接届く。
現場の情報を直接届ける。

- eMAFFでオンライン申請！
- 欲しい情報をサクサク検索！
- 大切な情報をPush通知！

農林水産業に役立つ情報が直接届く！

ダウンロードはこちら（無料）

App Store | Google Play

農林水産省大臣官房政策課
TEL: 03-3502-6565

MAFF
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
農林水産省

関東農政局茨城県拠点



いばらきオーガニック推進ネットワーク 令和5年度第2回意見交換会
日時：2024年2月16日（金曜日）午後2時から
場所：茨城県庁 17階（農林水産部会議室2）

茨城県主催の「いばらきオーガニック推進ネットワーク 令和5年度第2回意見交換会」にオブザーバーとして出席し、みどり牧場の取組、令和5年度農林水産関係予算概算決定の説明会（県庁YouTube）、農業政策局より説明会、農林・農業・農村基本法の改正の方向性、新たな環境政策推進の取組（国大蔵省）等紹介を行いました。一社団法人 日本オーガニック検査員協会より「有機農業をめぐる世界及び日本の動向」や、茨城県より「茨城県の有機農業推進取組の令和5年度実施状況」、茨城県農業総合センターより「有機農業推進推進チームの取組状況」について説明があり、その後活発な意見交換が行われました。

（参考）茨城県では「いばらきオーガニック推進ネットワーク」を設置して、有機農産物の生産方法や規格、価格、需要などに関する情報交換を行い、相互理解促進の場を形成し、需要と生産を増加させるために、関係機関と連携しながら有機農業の取組を拡大しているところです。

トップ画像（上）

更新しました New!

- 「いばらきオーガニック推進ネットワーク 令和5年度第2回意見交換会」トップページ・イベント・イベント・イベント（3月18日まで）
- 「予算説明会」の開催（3月18日まで）（3月18日まで）
- 「令和5年度農林水産関係予算概算決定の概要」の公表（3月18日まで）（3月18日まで）
- 「令和5年度農林水産関係予算概算決定の概要」の公表（3月18日まで）（3月18日まで）



お問合せ先

関東農政局茨城県拠点

所在地：茨城県水戸市北堀町1-9 地図

電話番号：029-221-1584

茨城県拠点の出前授業紹介

茨城県立水戸農業高等学校



水戸農業高校での「みどり戦略」に関する出前授業の様子
(写真: 令和5年8月)



バイオ炭（もみ殻燐炭）のすき込み(写真: 令和5年8月)

生徒は専門家による講義と実習指導を受けて、もみ殻燐炭の畑施用を8区画（濃度0%、5%、10%、20%）に分けて行い、「常陸秋そば」の種を蒔いて生育状況や収穫量を観察し結果をまとめました。

今回の取組において、バイオ炭の施用量がソバの収量に関係性があるとの結果は得られなかったものの、バイオ炭の効果の可能性を体験できました。

茨城県立真壁高等学校 稲荷原農場



真壁高校での「みどり戦略」に関する出前授業の様子
(写真: 令和5年12月)



バイオ炭（芝燐炭）のすき込み(写真: 令和5年12月)

生徒は専門家による講義と実習指導を受け、芝燐炭の畑施用を8区画（体積比0%、5%、10%、20%）に分けて、パン用小麦（ユメシホウ）の播種をしました。

今後、生徒さんは生育状況や収穫量を観察してパン作りにもチャレンジする予定です。

「茨城をたべよう」の紹介



「茨城をたべよう」とは

「茨城をたべよう」は、茨城のおいしい食材の魅力をみんなで広めていく合言葉です。茨城県では、新鮮で安全な農林水産物やそれらを使った加工品等の消費拡大及び認知度向上のため、広く県内外にその魅力を発信しています。

★茨城県ホームページ

[茨城をたべよう！いばらき食と農のポータルサイト](#)

MAFF

Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries

農林水産省

編集／農林水産省 関東農政局茨城県拠点 地方参事官室
〒310-0061

茨城県水戸市北見町1-9

TEL : 029-221-2184 (代表)

E-mail : ibaraki_sanji1@maff.go.jp (県北・県央地区)
ibaraki_sanji2@maff.go.jp (鹿行・県南地区)
ibaraki_sanji3@maff.go.jp (県西地区)